

会 議 録

会議の名称	平成 25 年度第 1 回川越市事業評価外部会議	
開催日時	平成 25 年 8 月 27 日(火) 18 時 00 分 開会 ・ 21 時 00 分 閉会	
開催場所	市役所 7A 会議室	
議長氏名	石川 久(淑徳大学教授)【評価人リーダー】	
出席者氏名	【外部評価人】 別添名簿のとおり 【スポーツ振興課(1事業目)】 西島 昭善(参事兼課長) 山下 隆(副課長) 嘉手川 満(指導主事) 内山 光寿(主任) 【産業振興課(2事業目)】 神田 勉(参事兼課長) 小山 勝則(副課長) 吉野 泰弘(主査) 内田 正英(副主任)	
欠席者氏名	なし	
事務局職員氏名	齊藤 洋一(政策財政部参事兼行政改革推進課長) 山田 幹夫(行政改革推進課副課長) 佐々木 亮(行政改革推進課主事)	
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 外部評価人紹介 4 会議の説明・注意事項等 5 議 事 (1) 1 事業目の外部評価 (2) 2 事業目の外部評価 6 閉 会	
配布資料	・会議の基本資料 【別紙 1】 ・事業資料(1. スポーツ大会等の開催/スポーツ教室等の開催) 【別紙 2】 ・事業資料(2. 川越産業博覧会実行委員会運営費補助事務) 【別紙 3】 ・(参考) 事務事業評価シートの見方 【別紙 4】	

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リダー	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（福田部長）</p> <p>3 外部評価人紹介</p> <p>4 会議の説明・注意事項等</p> <p>5 議 事</p> <p>(1) 1 事業目の外部評価</p> <p>【対象事業：「スポーツ大会等の開催」「スポーツ教室等の開催」(文化スポーツ部 スポーツ振興課)】</p> <p>それでは、これから事業評価外部会議を開催いたします。初めに「スポーツ大会等の開催」と「スポーツ教室等の開催」を一つのコマとして進めていきたいと思ひます。</p> <p>ではまず、事業概要について担当課から説明をお願いします。</p> <p>事業概要の説明</p> <p>事業概要について説明（スポーツ振興課職員）</p> <p>質疑応答・議論</p>
評価人リダー	<p>事業概要の説明が終わりましたので、これから質疑応答・議論に入りたいと思ひます。質問等がありましたらお願いします。</p>
外部評価人	<p>スポーツ大会の方について 2 点質問させていただきたいのですが、まず予算の内容については、全部業務委託の分という認識で良いでしょうか。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
スポーツ振興課副課長	<p>それと、評価シートの5 - (1)に「今後は、スポーツ団体が自主的に大会運営ができるよう、体制の見直しが必要」とありますが、これはお金の面もひっくるめて各団体が自主的に運営を、という意味でよろしいでしょうか。</p> <p>1点目のご質問についてですが、業務委託を行っている事業がほとんどですので、業務委託の予算と捉えていただいて結構です。あとはマラソンについては負担金という費目になっています。</p> <p>2点目のご質問についてですが、これは予算も含めたすべてのことと捉えていただければと思います。</p>
外部評価人	<p>スポーツ振興課で考えておられるスポーツの範囲というのはどの程度でしょうか。というのも、スポーツというものは無数にありますし、スポーツなのか、そうでないのか迷うようなものもあるかと思います。例えばヨガであるとか太極拳であるとか、そういったものまでスポーツと捉えているのでしょうか。</p> <p>もう一点ですが、スポーツ大会とスポーツ教室は関連付けて捉えていますか。たとえば、スポーツをするきっかけづくりとしてスポーツ教室を位置づけていますがそれでも、そういった方々がスポーツ大会に参加するような流れはありますか。スポーツの裾野が広がるようなことを考えられているのか、伺いたいと思います。</p>
スポーツ振興課担当	<p>スポーツの範囲につきましては、生涯スポーツ振興計画に明記させていただいておりまして、ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動、身体活動を伴う遊びなどの活動等の幅広い活動を対象としていますので、今お話しされたヨガや太極拳などもスポーツの一つとして考えております。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>二点目のご質問、スポーツ大会と教室の関連付けについてですが、スポーツ教室については、初心者を対象としたスポーツのきっかけづくりという趣旨のものがほとんどで、それをどう活かしていくかというのはレベルなどによっても様々で、それを大会に活かしていく方もいらっしゃるとは</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>思います。関連付けですが、大会については、どちらかという競技性・専門性のあるものが多いと考えております。例えば市民体育祭などは各体育協会に委託していますが、野球、バレーボール、バスケットなどは順位を決めますので、高いレベルで参加される方が多いと思いますので、競技性が高いと言えるかと思えます。それからグランドゴルフは、小学生、小学生の子を持つ親、50歳以上と、三世代の交流を目的として実施しています。そのため、競技性はないと言えます。あと市民ロードレース・駅伝というのは、日頃の練習の成果を発揮する場と捉えておりまして、どちらかという競技性が高いといえるかなと考えております。小江戸川越マラソンにつきましても同様です。その他、生涯スポーツフェスティバルなんかはどなたでも参加できたりと、つまりは、大会については競技性を持ったものと、どなたでも参加できるものに分かれると考えております。</p> <p>先程のスポーツ教室の説明の中で「勤労青少年ホームの事業を引き継いだ」というお話がありましたが、そもそも勤労青少年ホームというのは40年以上前につくられた法律で、地方から川越市に来た勤労青少年が地域に溶け込めるようにするために、彼らに対してスポーツが出来る場を提供するというのが目的でした。しかし、勤労青少年ホーム自体がその目的を終えたということで、昨年なくなったはずですよ。そこの事業を引き継いで継続することの意味は果たしてどこにあるのでしょうか。</p> <p>あと、教室は初心者に向けて実施されているということですが、底辺を広げるというのは確かに素晴らしいことだとは思いますが、「初心者である」ということの確認はしてないですよ。そのため、底辺が広がるのかどうか分かりません。</p> <p>それに、これらの教室については民間でも実施されている事業がほとんどです。それなのに、敢えて行政が安価で実施するのはどういった理由のためなのでしょう。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>勤労青少年ホームについてですが、今お話しいただいたように、40年前に建てられて、ここで役目を終えたのですが、勤労青少年ホームで実施していた事業は若い人を中心ということで実施しておりまして、そこから発</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>生したクラブが結構あると聞いています。そういった人たちの活動の場所が今後一切なくなってしまうというのはどうなのかという話もありまして、引き継ぐこととした次第です。</p> <p>それから、底辺の拡大について、初心者をごどのように考えているかというご質問ですが、募集をかける時に「初心者の方を対象に」と謳っているものの、「私は経験者だけど初心者レベルだ」といって来られる方もいます。ただ、初心者の方を募集していて、その募集に対して来られた方ですので、そういった方々も初心者だと捉えることとしています。</p> <p>それから、民間でやっていることを行政が安価でやっているのはなぜか、というご質問についてですが、今ご指摘をいただいたように、全部民間でできると言えばその通りかもしれません。ただ、我々としても、障害者の方向けのフォークダンスですとかグランドゴルフなどは、なかなか民間にもいけないような方たちにお声かけをして実施しているもので、毎年すごく楽しみにしている方もいらっしゃいます。それ以外の教室については民間でもやられていると思いますが、アンケートを取ると「また来年も参加したい」というようなお声もいただいております、やはり民間とは違ったような、参加者同士の触れ合いも大切にしながらといったような工夫もしながら、民間とは違う何かという経験をしてもらうことを考えながらやっているつもりです。ただ、やはりご指摘いただきましたように、教室を見直していかなければならない部分もあるというのは事実だと認識しております。</p> <p>今のご説明の中に、参加者が初心者だと申告してくるから初心者と扱っているというお話がありましたが、評価シートの中に「人気の無い教室は各所に参加依頼をしている状況」とあります。ということは、初心者のためではありませんよね。枠を埋めるために人を呼ぶという作業をしていて、実際、年間の参加者は576名ということで、事業費が570万円なので一人あたり1万円で事業を行いましたということだと思っておりますが、一人あたり1万円をかければ相当素晴らしい事業ができてしまうと思っておりますが、逆に言えば市の手によらないで民間でできるものだと思います。</p> <p>あと、障害者向けの部分に関しては、目的が少し違うんじゃないですか。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>これはスポーツ事業というより、どちらかというとなら福祉の事業だと思いません。これに関しては縦割りでスポーツ関係はスポーツ振興課となってしまうから仕方がないとは思いますが、本来は福祉の方でやるべき事業だと思えます。</p> <p>ぜひとも、民間と協働という形で、お金をかけない形でスポーツの振興を考えていってもらえればと思えます。</p> <p>スポーツ大会等の開催について、成果指標にこだわって質問したいと思います。「参加者」が指標とされていて、だいたい横ばいで来ています。事業の目的はスポーツ人口の増加を図るということですが、この指標から見ると、スポーツ人口は増加していないということになります。今回の事業評価の採点項目に「有効性」という項目がありますが、ここ数年ずっと同じということは、いま現在飽和状態ということになるわけで、とすると今後継続しても伸びてこないということが予想されるわけですが、どのように考えているのでしょうか。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>ご指摘いただきましたとおり、人数の増減を見ますと若干増えているかいないかという状態です。確かに市民体育祭にしても他の大会にしても、毎年やっているものだから今年も同じだろうと思われぬように工夫をしつつ、例えば生涯スポーツフェスティバルの中でも何か目玉となる競技を入れてみたり、マラソンについては参加者の上限が決まっていますのでできませんが、他の大会に関しては少しずつでも増えていくような魅力ある大会を考えていきたいと考えております。</p>
外部評価人	<p>現状維持しているというのは、通常だと飽きられてしまってだんだん減っていくものだと思うのですが、少しずつ中身を変えているから現状維持できているのだと、そう解釈できるかと思えます。あと、川越市の第三次総合計画の中の生涯スポーツの推進のところで「スポーツ実施率」という数字が施策の指標のところで取り上げられていまして、平成 27 年度に 60% という目標値が掲げられています。それと、健康づくりの推進というところで「運動習慣者の割合」ということで、平成 27 年度で 36% という目標</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
スポーツ振興課副課長	<p>値が掲げられているにもかかわらず、これらの指標が評価シートには一切書かれていません。廃止した時にこれらが低下することが考えられると言っていますが、これらの数字を取っていなければそれはわからないですよ。このところの数字は算出されていますか、算出されていませんか。</p> <p>スポーツ実施率を60%以上にすることを我々の目標としています。3、4年に一度「市民意識調査」という調査を全体的に実施しているのですが、それに乗かってアンケートをとってしまして、その結果は把握していません。それ以外につきましてもスポーツ振興課で独自に、市民の方を無作為に抽出しましてアンケートを実施しておりますので、その辺の数字は把握しております。</p>
外部評価人	<p>次にスポーツ教室の方についてですが、評価シートに「生涯スポーツの普及を図る」と書いてあります。そして、「人気の無い教室については参加依頼をしている」とあります。「普及を図る」ということは、もともと人気がないわけですよ。それを広げるのが仕事じゃないんですか。先ほど「フットサルはやる人が少ないから…」といった説明がありましたが、私は、これはものすごく認識がずれているんじゃないかと思います。東京都内ではフットサルの道具を抱えた人を多く見ます。申し訳ないですが、スポーツ教室の参加者が沈滞しているというのは、スポーツ教室の開催内容に魅力がないからだというのが私の考えです。</p> <p>あと、総合計画には「スポーツに親しむきっかけとなるよう、ニュースポーツ等の種目を積極的に取り入れるなど」とあります。ニュースポーツは徐々に人気が出てくるものなわけで、テニスやバドミントンなどのメジャーなスポーツは既に広まっているわけですから、市がやるべきことは人気の無いニュースポーツを取り上げて普及させることだと思っんですが、その辺はどうお考えでしょうか。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>おっしゃるとおりだと思います。担当してみれば、どうしてもやはり「来ていただける教室」というスタンスになってしまい冒険することが出来ませんが、やり方を工夫すればニュースポーツも段々メジャーになって</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>いくものもあると思いますので、そういったものも取り入れられるようにしていきたいと考えております。</p> <p>質疑応答がいろいろ行われましたが、スポーツ教室の方について、どうしてもわからないことが1つ残ってしまいます。何のために教室を開くのか。それが、いろいろとお話を伺ってきたのですが、今一つピンとこない部分です。一方において「スポーツを始めるきっかけになればいい」と言いながら、「新しいスポーツには手を出しづらい」と言っている。そうすると、スポーツを始めるためのきっかけづくりのために教室を開くのか、市民のスポーツの実施率を上げることが目的なのか、それとも体力の向上が目的なのか。そもそも入り口として、このスポーツ教室が何を目指しているのかが非常に分かりにくい。その象徴的なものが、「何でこの種目なんだろう」ということだと思っております。先ほどスポーツの実施率についてのお話がありましたけれども、何年か前に行われたスポーツ実施率の調査結果によれば、特に女性の20代、30代あたりのスポーツ実施率が低いと。もし仮に、スポーツ実施率を向上させるということであれば、彼女たちへの訴求力が高いスポーツの教室を開催するというのが妥当だと思っております。しかしながら、こちらの種目を拝見しますと、若い女性に人気のありそうな種目は、正直申し上げてありません。それだったら民間の教室を利用の方がマシではないか、ということに当然つながってきます。そうすると、結局のところ「何のために市が教室を開くのか」というところが不明確になるわけです。</p> <p>これは私の考え方ですが、一つの政策で同時に二つの目的を達成することは絶対にできないと考えています。そうすると「スポーツ教室を実施する」という事業は最終的に何を目的としているのか、お聞かせいただきたいと思っております。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>今お話しいただきましたように、一つのことによって二つの目的を同時に達成することはできないというのは、そのとおりだと思います。私どもとしては「スポーツを始めるためのきっかけづくり」ということで教室を開いていますので、教室の方については今までやったことのない人に興味を持っ</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>ていただき、続けていっていただくということが目的になりますが、ただ、教室を開催したからといってスポーツ実施率が上がるとは考えにくいと思っております。ですから我々としては、それ以外の部分で実施率を上げていかなければならないと考えています。たとえば生涯スポーツフェスタなどでは「スポーツを知る」というコーナーなども設けていたり、その他にも健康面も踏まえてのアピールを行うなど、教室とは切り離れた部分で、その目的をもってやっていく必要があるのかなと考えています。</p> <p>私は、自治体がこうしたスポーツ教室を開催することは大変意義のあることだと思っています。と言いますのは、民間の教室では入会金があったり、月謝が非常に高額だったりします。そのため、スポーツに興味を持ったら気軽に利用できる市の教室に通って、それで続けたいと思ったら次に民間の教室に通って継続していくということが可能になると思うんです。そのため、行政がスポーツ教室を開催する意義はあると思うわけです。ただ、実施状況の一覧を見ますと、教室の種類がほぼ固定化されていて、なおかつ定員割れを起こしている教室がたくさんあるという状況になっています。スポーツというものは幅が広く、例えばダンスやエアロビクス、気功など、伝統的なスポーツにとらわれず、概念がもっと広がるような領域がたくさんあるわけですし、高齢者の方々にはこういったニーズがあるのか、女性の方々にはこういったニーズがあるのか、勤労青少年の方々にはこういったニーズがあるのかななどもう少しニーズを捉えて、スポーツの種類を柔軟に変更していった方が魅力ある教室のメニューができるのではないかと思います。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>確かに、毎年無難に人が集まる教室をただやっていくのではなく、各層のニーズをよく捉えながら、柔軟に魅力ある教室を検討していかなければならない時期なのかなとは考えております。</p>
評価人リーダー	<p>私も少し質問させていただきたいのですが、まずはこのスポーツ教室のメニューについては、誰がどのように決めているのでしょうか。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
スポーツ振興課副課長	<p>これらはここ何年か継続している教室でして、そこに少しずつ新しいものを検討していくという形をとっていますが、正直申しますと、古い教室については誰がいつ、どのように決めたかというのは把握できておりません。</p>
評価人リーダー	<p>はい。つまるところ、ニーズの把握をどんなふうに行っているのかなというのが疑問なわけなんですけど、いかがでしょうか。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>はっきり申しまして、ニーズの把握につきましては、直接市民の方からアンケートなどは取ったことはないんですが、どういう教室をやっているかなどの市町村レベルでのアンケート調査がありまして、その結果を参考にしております。</p>
評価人リーダー	<p>重ねるようで恐縮ですが、他市町村ではこういった教室をやっていますか。</p>
スポーツ振興課副課長	<p>いま流行っているのはフラダンスとか、ニュースポーツではバドテニスなどがあります。</p>
評価人リーダー	<p>ありがとうございます。他に質問等がありますか。 それでは評価人からの質問は大体終わったようです。評価人の皆様におかれましては、採点シート、意見シートのご記入をお願いします。</p>
評価人リーダー	<p>評価結果発表</p> <p>それでは、各評価人からそれぞれの採点に至った経過と付帯意見等について発表をお願いします。ではまず、最初の評価人の方からよろしいでしょうか。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>はい。スポーツ大会については上から 4、4、4、5、3 です。スポーツ教室については上から 2、3、2、1、3 です。</p> <p>スポーツ大会についてですが、成果を競うというのは理にかなっていると思いますし、実際それを目標にして頑張っている方も多くいらっしゃると思いますので、この事業に関しては特に申し上げるべきことはないのではと思います。ただ、最後の「方針妥当性」についてあえて 3 点とした理由ですが、ある程度うまくいっているのであれば、別に予算も含めて各種団体に任せなくても良いんじゃないかなと思うためです。これは私の基本的な考え方なんですけれども、多少予算がかかったとしても、それで十分な成果が出るということであれば問題はないと思っております。</p> <p>対してスポーツ教室の方ですけれども、やはり先ほど申し上げたように「何のためにやっているのか」ということ、あと民間企業との関係の整理ができていないことが問題になってくるんだろうと思っています。教室が何のために開かれているのかということにどうしても疑問を持たざるを得なかった、もう少し突き詰めて言うと、市としてやるべき範囲はどこからどこまでなのか、民間にやってもらう範囲はどこからどこまでなのかということ。この点については徹底的に議論して今後やっていく必要があるかなと思います。以上です。</p>
評価人リーダー	<p>ありがとうございました。続いて次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私は 2 つとも点数が低いのですが、まず一つはスポーツ大会について、先ほど他の評価人の方からもお話がありましたが、目的に対してその成果が出ていないというのが大きな原因です。それから、スポーツ大会の中で、小江戸川越マラソンについて市内、市外からたくさん人が集まっていると思うので、それ自体が成功だとは思いますが、川越市のスポーツ人口の増加とはちょっと違うかなと。マラソン自体は比較的手軽で人気のあるスポーツなので、その大会を実施するのはわかるんですが、その点についてもう少し工夫があってもいいんじゃないかなと思います。</p> <p>それから、スポーツ教室の方については皆さんがご指摘されているとおりで、底辺の拡大と言っている中で、参加者も少ない。実施する意味があ</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>るのかなと疑問に思います。「このスポーツが今後普及していく」という部分で、どんな中身でどういうものがよいのかという判断をどのようにされているのかなというところが疑問に思いました。</p> <p>スポーツとはもっと幅広いもので、競技性のスポーツだけでなくもっといろんなものを取り上げて、健康増進を図ったり、他者とコミュニケーションが取れるようなものなどもやっていていただきたいなと思い、少し厳しめに点数をつけさせていただきました。以上です。</p>
評価人リダー	<p>ありがとうございました。続いて次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私は非常に高い点をつけました。と言いますのは、超高齢社会の中で、健康寿命をいかに伸ばしていくかということが求められる中で、スポーツというのはそのための重要な手段になると思っています。そのため、行政が市民のためにスポーツの振興を図るといのは大事な役割だと思います。スポーツ大会等の開催については、非常に大勢の参加を得てかなり活発な取り組みが行われているという点については高く評価させていただきました。採点としては5、5、4、4、4とつけさせていただきましたけれども、少し気になりますのは、やはり教室で育った初心者の人たちが積極的に大会に参加できるようなルートの構築や働きかけをして、もっと裾野をひろげていき、市民に、広く大会に参加できるような道筋を作っていけるといいなというふうに思いました。でもこういった企画は非常に大事なことだと私は思っております。また、スポーツ教室等の開催については、なかなか敷居が高いため民間の教室には行けないけれども、市がやっているのなら行ってみようかというふうに「気軽に参加できる」という意味では、行政が取り組む意義というのはあると思うんです。実際に私も、川越市ではありませんが、市が主催されている教室に参加させていただいたことがあります。どんなスポーツなのかを知るという意味で非常に良い体験をさせていただいたと思っています。ただ、大事なのはメニューだと思うんです。ここでも時代適合性とか補完性については5点ですが、以降は4点、3点、4点と付けています。例えば有効性、本来の目的に合致した成果を挙げているかという点に関しては、メニューをもう少し魅力あるものに、</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リーダー	<p>時代のニーズや市民のニーズに適合したものへと柔軟に工夫していくということがあれば、もっと幅広い参加が得られるのではないかと思います。そういったことから、私はこうした事業については大変高く評価させていただきました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。続きまして次の評価人の方、発表をお願いします。</p>
外部評価人	<p>はい。私の方は、スポーツ大会等の開催については時代のニーズに合っているものだと思います。行政が今後も続けていくという方針も妥当だと思います。ただ、効率性、有効性などについては、いただいた資料だけでは十分に判断できない面があります。ここで一つご提案なのですが、参加者を成果指標としてとらえていますが、じゃあ「一人あたりにかかる経費はいくらなのか」といったような指標を考えられると良いのではないかと思います。また有効性についてですが、ニーズとしてはあると思いますが、市の方として、その目的に合ったメニューを提供できていないということでスポーツ大会の方については3点、スポーツ教室の方については2点という点数を付けました。方針妥当性については、現状のままになるのかなということでそれぞれ4点、3点としました。以上です。</p>
評価人リーダー	<p>ありがとうございました。それでは続きまして次の評価人の方、お願いします。</p> <p>はい。まずはスポーツ大会の方ですが、上から4、5、4、4、4とさせていただきます。基本的に、競技スポーツをメインに大会は行われると思うんですけども、大会がなければ目的がなくなってしまうので、これはぜひやっていただかなければならないと思います。団体として体育協会がいらっしゃいますが、協会だけでなく市全体でやっていただく方が、参加する方としても参加しやすいし、共に競技する人数が多ければ多いほど参加者は多くなると思うので、行政が実施するというところに全く異論はございません。ただ、競技種目の固定化であったり参加者の固定化であったり</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>評価人リダー</p>	<p>というところは否めないかなと感じます。やはり、新たなものを取り入れていかなくは、本来の目的である「生涯スポーツの推進」というところには達することが出来ないと思います。ぜひとも新たな種目を取り入れていっていただければと思います。</p> <p>スポーツ教室等の開催につきましては、3、2、2、2、2 と付けさせていただきました。こちらは、目的がスポーツに親しむきっかけをつくり生涯スポーツの推進を図るということであれば、既存のスポーツについてはもう推進を図る必要はないのでは、と思います。協会があるということは団体があるわけですから、その団体が推進を図るものであって、それをさらに市が推し進める必要がどこにあるのかなと思います。であるならば、新たな種目の推進を図っていくこと、それが市のやるべきことなのかなと思います。私の採点は、時代適合性は3点、あとは全部2点なんですが、そういった理由からです。現状新たなものを取り入れているというところが全くないので、他の評価人の方からもありましたが、今後スポーツ教室の選定にあたりましては、ぜひとも新たなスポーツを取り入れていっていただきたいと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。それでは最後に私自身の評価と全体の評価を申し上げます。</p> <p>スポーツ大会等の開催については、4、3、3、4、4の合計18点になります。それから、スポーツ教室等の開催についてはいずれも2点の合計10点になります。</p> <p>まず大会の方については、参加者の増加が見てとれるという点で、一定の評価ができます。それから、評価シートの5-(1)で「今後は、スポーツ団体が自主的に大会運営ができるよう、体制の見直しが必要である。」と書いてある点を評価したいと思います。</p> <p>続いてスポーツ教室の開催についてですが、こちらはまず、目的と成果指標との間に齟齬があります。目的を「スポーツ実施率の向上」とおっしゃっていましたが、その評価指標が「スポーツ教室の参加者」となっています。スポーツ実施率の向上が目的であれば、スポーツ実施率が % になったというのが評価指標とならなければなりません。ところが、生涯ス</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>評価人リダー</p>	<p>ポ-ツの普及を図るといふことの内容が、スポーツ実施率の向上と言いつつ、実はスポーツ教室の参加者数になっているということです。ですから、はっきり申し上げますと、あまり力を入れていないのかなという印象を受けました。その点で少し残念だったかなと思います。もっといろんな人がいるなところで「いつでも、どこでも、だれでも参加できる」というのが生涯スポーツなわけですから、ぜひそういう方針を掲げて頑張っていていただければと思います。それが出来ないようであれば、もうすこし民間との連携や学校との連携を図ることによって、行政が位置づけをきちんとする。自分からは手を出さない、お金は出す。そんな方法も考えられるかなと思います。自分たちがやらなければならないということと目標を達成するというのは、ある意味別の問題であると言えるかと思います。</p> <p>さて、全体の結果が出ました。まずスポーツ大会等の開催についてですが、合計が112点で、百点満点換算では62点になります。これは「B.事業の在り方は概ね妥当である」という評価になります。スポーツ教室等の開催についてですが、こちらは百点満点で換算して44点となりました。これは45点未満の区分になりますので「D.事業の在り方は妥当とは言えない」という評価になります。</p> <p>以上、この結果を踏まえてさらに検討していただければと思います。ありがとうございました。</p>
<p>評価人リダー</p>	<p>以上をもって、1番目の「スポーツ大会等の開催」「スポーツ教室等の開催」の評価を終わります。ここで、10分程度休憩を入れさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">- 休 憩 -</p> <p>5 議 事 (2) 2事業目の外部評価</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リーダー	<p>【対象事業：「川越産業博覧会実行委員会運営費補助事務」(産業観光部 産業振興課)】</p> <p>それでは、会議を再開いたします。次の事業は「川越産業博覧会実行委員会運営費補助事務」になります。まずは担当課から事業概要の説明を10分程度でお願いします。</p> <p>事業概要の説明</p> <p>事業概要について説明(産業振興課課長)</p> <p>質疑応答・議論</p>
評価人リーダー	<p>では、事業概要の説明が終わりましたので、これから質疑応答・議論に入りたいと思います。質問等がありましたらお願いします。</p>
外部評価人	<p>それでは質問いたします。この事業の目的なんですが、川越市の産業振興を図ることを目的として実施ということなんですよ。ですから、成果として現れるのは産業が振興されているかどうかということであるわけです。そうすると、来場者数はあまり関係ないですよ。この評価シートの指標に基づく評価のところ「川越市の産業をPRできていることは評価できる」とありますが、川越市の産業をPRすることが目的ではないわけです。PRするのは誰でもやればできるわけですから、そのあとの重要なのは、出展者数の減少について対応を考える必要があるということです。出展者がなぜ減少するかということ、要するに産業博覧会が単なるお祭りであって、出展することで自分たちの企業にとって何のメリットもないから出てこないわけです。これについては、はっきりとそういったことを書けない面もありますが、逆に言うと来場者のアンケートの中で「企業の出展が減っている気がするが頑張してほしい」とか「特に体育館のブースはグラフィッ</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
産業振興課副 課長	<p>ク的な説明が欲しい。インパクトに欠ける」、或いは「川越市の目玉商品があるとよい」といったようなことが書いてあって、目玉になるようなところが出展していないと、川越の企業が川越市民にアピールしてもさほどメリットがないということなわけです。よく農業などで「地産地消」という言葉がありますが、地元で作った商品を地元で消費しているだけではその産業は発展しないんですよ。地元だけでは、「産業として販路を拡大したい」というのがこういうところに出展する意義なわけです。例えば、さいたま市では「彩の国ビジネスアリーナ」というのを毎年 1 月に開催していますが、今年の 1 月に 2 日間開催していて、そこで商談件数 3,599 件、取引成立件数 90 件と、それをホームページでアピールしているんです。来場者は 16,487 人だけなんです。それに対して川越市では 2 万人も来場していながら、企業が本来的に求めているのは何か。お祭りやその場の売り上げなどで満足しているようなイベントでは、永続的な産業の振興は図れないんです。で、ここでもう一度目的に立ち返りますが、産業振興を目的にしているということであれば、やはり商談件数ですとか取引成立率ですとか、そういったことが成果に反映されなければならないと思うわけですが、いかがでしょうか。</p> <p>ただいまのご質問につきましては、ご指摘の例でいただきました彩の国ビジネスアリーナにおける商談件数などの成果について、川越産業博覧会と比較いただいた内容かと思えます。彩の国ビジネスアリーナの開催趣旨と川越産業博覧会の開催趣旨が若干違っているのは我々も認識しているところでございまして、今後どうしていくかというのは主催者側としても考えているところです。まとめて申し上げますと、「産業博覧会」というタイトルのように、ビジネスの販路の拡大などを中心とした商談形式でいくべきなのか、それとも昭和 63 年から続いている市民まつり的な役割も含めた形式で進めていくべきなのか、どちらで進めていくべきなのかということに関しては検討している状況です。ですので、今のままが良いというふうには認識しておりませんし、例に挙げていただいたような「彩の国ビジネスアリーナ」のような形式に切り替えていくのが求められる形なのか、その辺について現在検討している段階になります。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>産業振興ということでお話しされていますが、出展者というのはどのように決めているのでしょうか。出展者を見ると、団体が多いんですね。これが来場者の方々にとって何か興味を引くような団体なのか、いろいろな団体が入り込んでいて、博覧会と言えば博覧会なんではないかと...。</p>
産業振興課副課長	<p>出展者募集の方法についてですが、広報川越と市のホームページに開催と出展者募集の記事を掲載しまして募集しています。また併せて、前年度出展していただいた団体へは、文書で今年度の開催についてお知らせしています。</p>
外部評価人	<p>産業博覧会が始まって四半世紀ということですが、何で25年前にこれが企画されるようになったのでしょうか。普通こういった産業博覧会というともう少し前の時代にあったと思うんですが、これが企画されるようになった歴史的背景なり経緯なりを教えてくださいませんか。</p>
産業振興課副課長	<p>昭和63年の話になりますが、当時商工会議所で実施しておりました工業フェア、農業組合で開催しておりました農業祭、卸売団地で実施しておりました感謝祭市、そして市で実施しておりました姉妹都市フェアと、4団体が別々に市のまつりを実施していたのですが、これらを合同開催としまして、各々の交流を図り、市内の産業の発展を図ろうといった背景がありました。</p>
外部評価人	<p>結局、目指すところは地域振興なのか、産業振興なのか、それとも市民に対してお祭りを提供することなのかというのが非常に難しくなってくると思うんですけれども、印象で構いませんので、今どちらの方向に向かっているとお考えでしょうか。</p>
産業振興課副課長	<p>現在、事務局の会議の中で課題について意見を出しているところなんですけど、「産業博覧会」というタイトルがついていますので、やはり産業に触れる、ないしは次世代を担う子供たちのために体験をしてもらうような企</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>画をもってることによりまして産業の色を出していくという意見がここ数年出てきております。そのため、体験型という色が少し濃くなってきているというような印象です。</p>
外部評価人	<p>先ほどの説明の中で聞き取れなかった部分について確認したいのですが、平成 24 年度の予算の内訳をもう一度教えていただけますか。</p>
産業振興課副課長	<p>事業の経費については約 1,600 万円とご案内したところですが、その中の負担金といたしまして商工会議所から 150 万円、いるま野農業協同組合から 25 万円、協同組合川越バンテアンからは 10 万円、公益社団法人小江戸川越観光協会からは 5 万円、市から 800 万円で合計 990 万円となっております。その他は出展料等になります。</p>
外部評価人	<p>そうすると、予算のほとんどの部分を市が担っているという認識でよろしいですか。</p>
産業振興課副課長	<p>数字的にはそのような状況になっております。</p>
外部評価人	<p>今までのお話を聞いたところ、これは完全に市のお祭りになっているということだと思っておりますが、ここに書いてあるとおり産業の振興、工業団体への支援という部分から全くかけ離れた内容になっているというイメージなんですが、川越市が主催してやるのであれば、目的と実態がかけ離れたものになっているとしか見えないんですね。方向性として、最近は大学との産学協同を進めているということであれば、もっとそこのところがメインになってこなければならぬのであって、その周りにある参加企業というか出展者が食事をしていただく部分が半分くらいあると思うんですが、それはちょっと違うのではと思います。お客さんとして行く分には今の形のままの方が楽しいとは思いますが、目的とちょっと違うと思うので、目的をすり替えずにちゃんとそちらへシフトしていただかないと、そもそも評価できない。単なるイベントになってしまってますよね。事業の評価</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>をするのに値するのかなと思います。方向性としては市民まつり、産業まつりでも構わないと思うんです。それならそれで、その方向性をはっきり示してもらわないとそもそも評価ができないと思うので、その辺を一度考えていただきたいなと思います。</p> <p>初めてこの名称を知ったんですけども、「産業博覧会」と聞いて、すごく古めかしい印象を受けました。昔、万博などがありましたけれど、そういった「博覧会」というのは古い印象です。それから、他の評価人の方と重なりますけれども、産業振興という目的に対し、市民のお祭りとして化しているという点ですごく矛盾を感じるんですね。出展者の方々は何を目的に出展されているのか。そこで自分たちの事業について交渉して販路拡大を求めるといようなことが行われているのかどうか。それから産業の中身ですが、現代の産業の構造は大きく変わってきているわけです。第一次産業、第二次産業、そして第三次産業として情報産業、そしてサービス産業というのが広がってきている中にありながら、非常に古い時代の産業として捉えられているのかなという印象を受けます。そして今日は、福祉も一つの産業として化してきているわけです。そのため、「産業」と銘打つならば、障がい者の方々の作業所や高齢者ホームなどにも働きかけて、構造的に捉えなおしていただきたいと思います。そして、2万人を超える参加者ということですけども、こういった方々が参加されているのか、その内訳は分かりますでしょうか。</p>
産業振興課副課長	<p>参加者の内訳についてですが、来場者アンケートの資料(資料2)の1ページ目に記載されておりますとおり、性別とどちらからいらしたかの調査はしております。年齢層というところまでは調査しておりません。</p>
外部評価人	<p>これには出展者は入っていますか。</p>
産業振興課副課長	<p>これは来場者を対象としたアンケートですので、出展者は含まれておりません。出展者については資料1のアンケート結果の中にまとめております。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
外部評価人	<p>そうしますと、グラフで見ると市内の方が 3/4 程度を占めているように見受けられるのですが、来場者の 3/4 は川越市の一般市民の方という認識でよろしいでしょうか。それとも同じ市民でも企業関係者が含まれているのでしょうか。</p>
産業振興課副課長	<p>一般の市民の方か企業関係者かという分析まではできていない状況です。</p>
外部評価人	<p>そうしますと、市民まつりの様相が色濃くなってきたというのはどこで判断されているのですか。</p>
産業振興課副課長	<p>ビジネスチャンスを広げる商談会のような色彩が濃くなく、飲食物の販売などが多く出展されていて、それを楽しみに来られる方が多いという実情から、市民まつりの色が強いと判断した次第です。</p>
外部評価人	<p>それでは、やはり「博覧会」という名称はそぐわないかなという気がしますが、いかがでしょうか。</p>
産業振興課副課長	<p>個人的な見解になってしまいますが、ご指摘のとおり「博覧会」というタイトルは、現状においては幅の広いタイトルになってしまっていると考えております。ただ、今後名称を変えるという意見までは現在のところ出ておりませんが、印象としてはご指摘のとおりだと思っております。</p>
外部評価人	<p>この評価シートが一番下の「事業を廃止・縮小した時の影響」の中で、「この事業の廃止は、市内事業所のビジネスチャンスの機会を減らし、また一般市民が川越の産業力に触れる数少ない機会を失うことにもなりかねない」とありますが、市内事業所のビジネスチャンスの機会が減るといふことの判断根拠は何ですか。</p>
産業振興課副	<p>資料 1 の 3 ページ目の下のアンケート結果をご覧くださいますと、「 :</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
課長	<p>事業所や製品・商品の販売が好調であった」が 30%、「 :一般市民との情報交換・情報収集ができた」が 43%となっております。ここから、ビジネスチャンスの機会となっていると判断した次第です。</p>
外部評価人	<p>PR ができたことと情報交換ができたことを挙げられましたが、それはこの産業博覧会の機会でなくともできることです。今はいろんなところがビジネスマッチングですとか異業種交流会ですとかをどんどんやっているわけです。そのため、川越市で産業博覧会を廃止したからといってビジネスチャンスがなくなってしまうということはないわけです。市の代わりにやってくれるところはいくらでもあります。それなのに、敢えて市でやっている理由は何ですか。</p>
産業振興課副課長	<p>すぐに答えが浮かばないのが正直なところですが、四半世紀前に開催された当時から産業博覧会という名称でスタートしており、それをこれまでずっと続けてきたという経緯がございます。ただ、今ご指摘いただきましたとおり、現在ではビジネスマッチングのような制度も広まっております。そんな中、今後はそういった方向に特化していくべきなのか、現在のこのような形で続けていくべきなのかということについて実行委員会でも意見が出ているところでございまして、この会議の機会も活かして、さらに議論を深めていきたいと考えております。</p>
外部評価人	<p>こちらのアンケートを拝見しますと、資料 1 の 8 ページになりますが、今後の博覧会のスタイルについての出展者の希望は、「商品が売りたい」「市民とつながりたい」というのが強いわけですし、資料 2 の最後にある今後の開催内容についての来場者の希望は、「今まで通り」というのが圧倒的に多いわけですね。そうすると、先ほど来お話しされているビジネスのやり取りの場としては、出展者、来場者の双方ともあまり期待していないのではないかと気がするわけです。するともう、産博はそういうものだと思えてしまった方が早いような気がしてしまいます。先ほど他の評価人の方からもありましたが、商品のやり取りのスタイルは確かにずいぶん変わってきているわけですね。であるとすれば、産業博覧会という名称に</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
産業振興課副 課長	<p>少し違和感を覚えることは確かなんですが、その一方で、こういった一般企業側がどのようにして商品を販売するのかと、その意味での博覧会として捉えるならばそれなりに意義があると思うんですが、やはりそちらの方向性も視野に入れながら今後展開していくということになるのでしょうか。</p> <p>今後の方向性がまだ煮詰まっていない状況での回答になってしまいますけれども、例えば産業博覧会という名称は別としまして、市民まつり的なものは市民まつりとして残して、ビジネスマッチング等ビジネスチャンスの機会的なものは、新たに別の催しを設けるというような棲み分けができれば明確化になるのではないかと考えています。ただ、とにかく現状のままではいけないというのは、職員間でも認識しているところです。</p>
評価人リダー	<p>他にご質問のある方はいらっしゃいませんか。</p> <p>それでは、一通り質問等が終わったようですので、評価人の皆様におかれましては採点シート、意見シートの作成をお願いいたします。</p> <p>評価結果発表</p>
評価人リダー	<p>それでは、各評価人からそれぞれの採点に至った経過と付帯意見等について発表をお願いします。ではまず、最初の評価人の方からよろしいでしょうか。</p>
外部評価人	<p>はい。まず点数についてですが、私は全部2点とさせていただきました。先ほど来のお話が出てきていますが、目的と実態が、というか、やるべき意味が果たしてあるのでしょうか、という状態になっていると思います。「産業博覧会」ということで開催されているものの、実態はお祭りになっているということなので、時代適合性や補完性、効率性などはあまりないということで全部2点を付けさせていただきました。ただ、意味合いからはず</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>れてしまっているものの、参加する市民から見れば、やっていただく分には何の問題もない。ただ、この産業博覧会というものは、市民に向けての事業の発信という面においては、さほど影響力はないとみています。市内の産業と市民・近隣の住民との親交を深めるといのはちょっと難しいかなと思います。この目的を達成するためには、もっと別の形を考えたほうが良いのかなという気がします。市民まつりとして開催するのであれば「産業博覧会」として開催する必要は全くないと思います。また、先ほど来、出展者がPRできましたという成果を言っていますが、これは当たり前なんです。ほとんどがモノを販売する人たちなので、販売できさえすれば目的は達成できるからです。実際の目的とは違うところにあるというところで、こういった評価になりました。以上です。</p>
評価人リーダー	<p>ありがとうございました。続いて次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>私は、効率性が1点、あとは全部2点としました。効率性が1点というのは、こんなものに800万円もの事業費として使うのはもったいないというのが理由です。あと、他は2点ですが、もし川越産業博覧会という名前を付けて、もし銀座とか有明とかそういったところでやってくれたら立派だと思いますけれど、川越の伊佐沼で産博をやって評価が～なんて言っていたら、はっきり言ってお話にならないと私は思います。</p>
評価人リーダー	<p>ありがとうございました。次の評価人の方、お願いします。</p>
外部評価人	<p>私も先のお二人のご意見とかなり重なりますけれども、「産業振興」と「市民向けのイベント」という2つの実態が存在していて、産業振興の方は表看板なんだけども、その実は空洞化しているという状況であり、そこは変えなければならないと思います。ただ、2万人以上の方が集まるということは、もう定着しているということだと思いますので、これを実態に合わせた企画へ再編成することが求められるのではないかと思います。物産展や銘店、市民の生活に密着したお店なり様々なサービスなり、新しい現代的な事業など、そういったものを含んでPRしたり販売したりすることで市民</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リーダー	<p>は集まってくると思います。あと、新しい事業ですね、例えば老人ホームや障害者施設がこういった活動をしているというのを絡めて、市民を巻き込んで楽しく過ごせるような企画があっても良いと思いますし、現代的なニーズに合わせたものに再編成することが望まれるように私は思いました。以上です。</p>
外部評価人	<p>ありがとうございます。では次の方、お願いします。</p> <p>皆さんお話しされているとおりだと思います。この事業は、総合計画上では「にぎわいに満ち、活力ある産業を育てるまち」の「地域経済の活性化と産業振興」の中の事業として実施されているわけですが、お書きになられているとおりで、市民まつり的なイメージが強く、目的に対し齟齬があるのではないかと思います。それからお話にもありましたように、出展者にとってみれば、出展料以上の儲けがあれば良いということになりますので、市でお金を出してやる意味があるのか、本来は自分たちでやるべきことではないのかなと思います。あと、博覧会というとなんでもありではなくて、川越市としてテーマを持った何かというか、「今回はこういうテーマ」というものがあつたらよいのかなという気がします。もしやるのだったら。以上です。</p>
評価人リーダー	<p>ありがとうございます。では次の方、お願いします。</p> <p>はい。私の方の採点ですが、3、4、3、3、3 としました。他の皆さんと比べると随分高めになっていますが、単純に私の考え方で、ある意味身も蓋もないんですが、先ほど来、評価人の皆さんから「産業博覧会という名称が合わなくなっている」というお話がありました。確かにそうなんですけれども、私は最初からそうだったと思うんです。つまり、先ほどのお話ではもともと商工会議所などのイベントを合同で行うところからスタートして、そこから産業振興という方向にシフトしています。ですから、恐らくこの「産業博覧会」という名称は、生まれた当時からミスマッチだったものと考えられます。それが多分、みなさんがおっしゃるような「ちょ</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
評価人リーダ -	<p>っと合っていないんじゃないか」というところにつながってきていると思います。いっそのこと、他の自治体みたいに「産業まつり」という名称にした方が皆さん納得されるんじゃないかと思います。ただ、それでも私は、私としては採点をちょっと低めにしているんですが、その一番の理由は、担当部署の皆さんの中でも、このイベントがどういう位置づけをもっているのかというのがまだ明確に見えていないような気がするんですね。それが私としては一番の問題点だと思っています。今後この事業をどのようにしたいのか、どのようにするべきだと考えているのかというのが示されないと、私としてもこれ以上の点数はつけられない。最初からこういうものだったんだと考えた上での点数にしています。以上です。</p> <p>ありがとうございました。それでは最後に私からの評価を申し上げます。実は私は、ただいまの評価人の方とほとんど同じ印象を持ってまして、こういう名称の齟齬というのは、実際にはよくある話なんです。つまり、いろんな事業をまとめて何かに仕立て上げるときに、あれこれみんな含めて、なんとなく落ち着くような名称を付けるというのはよくある話なんですよ。で、問題なのは、来場者アンケートとかいろんなものに示されるとおり、「イベント」なわけです、これは。ですから、先ほどありましたように「産業まつり」というような名称にすればスッと落ちるはずなんです。ですから、名称の問題は置いて、みんなが産業に触れ、川越のいろんな産業、工業を考えようというふうにちゃんとしてあるということは、高く評価すべきだろうと私は思います。ただ、先ほど出た意見で「いかにしてビジネスチャンスを広げるか」というのは実は大変重要な意見で、この製品や商品をどうやって売ることかという点はとても大事なんですが、実は自治体ができることはそんなにはないんです。自治体単独でやろうとしてもできっこないんです。ですから、自治体とどこかで協働して、つまり仕掛けをしてやるしかないんですね。惜しむらくはその仕掛けがないかな、というところで少し残念な感じを受けました。</p>
評価人リーダ -	<p>全体の評価は百点満点中 43 点という評価になりました。これは「D.事業の在り方は妥当とは言えない」という判定になります。ただ、私があえて</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
<p>評価人リーダー 事務局</p>	<p>申し上げますのは、今後のことをしっかり考えていただければ、事業の在り方としても皆さんから評価をいただけるのではないかと。それを敢えて申し上げておきたいと思います。残念ながら今日の評価は「D.事業の在り方は妥当とは言えない」ということでした。どうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、2つ目の外部評価を終わりにしたいと思います。どうもありがとうございました。では、事務局にお返しします。</p> <p>外部評価人の皆様におかれましては、長時間に渡りいろいろとご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>それでは、これをもちまして、平成 25 年度第 1 回川越市事業評価外部会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>6 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>